



横浜市立一本松小学校

学校だより

7月号

令和3年6月30日
横浜市立一本松小学校
校長 高桑 透

「習う」ものから「学びとる」ものへ

校長 高桑 透

例年より遅い梅雨入りとなりました。雨が降ると休み時間は外で遊ぶことができず、体育も外ではできないので、子どもたちもエネルギーを発散させることがなかなかできないのですが、今年はそんなに雨が続くこともなく、過ごしやすい梅雨を過ごしています。

さて、本校でもいよいよ一人1台のタブレットを利用した学習活動をスタートします。国が進めるGIGA スクール構想により、横浜市より一人1台貸与することとなりました。これからの学習は、子どもたちが「習う」ものから、子どもたち自身で「学びとる」ものへと変わっていきます。自分から調べたり、記録したり、意見を出し合ったりする道具として積極的に利用していきます。子どもたちが、自分から「学びとる」日常的なツール(文具)として活用するためのものがタブレットです。

タブレットを使用するにあたり、先日の朝会でも、便利な道具であることや、大切にしてほしいという話をしました。通常使用以外で、故障・破損した場合(落としてしまった、ぶつけてしまったなど)、保護者の方に修理をお願いすることもあります。先週金曜日には、タブレット端末の液晶保護フィルム貼りの作業を、ボランティアの保護者の方と教職員とで行いました。参加していただいた方、ご協力いただきありがとうございました。子どもたちにも丁寧に扱うように十分指導していきますが、ご家庭でも大切に扱うものだという事を、再度お伝えください。

また、持ち運んで使用する時のために、一人ひとつ、手提げ袋をご用意ください。生活科や理科の実験・観察や、音楽科での録音や作曲、体育での動画撮影など、利用シーンは様々です。安全に持ち運べるようにご協力をお願いいたします。



我々教職員にとっても、一人1台のタブレットを使つての教育活動はまだまだこれからです。日々研修を重ねながら、自分から「学びとる」子どもたちに育てていきます。

タブレット用の手提げ袋を用意してください。(7月7日くらいまでに)

○タブレットの大きさ(キーボード付き)

・大きさ・・・算数の教科書が入る大きさ(A4判・厚さは2センチくらい)

・重さ・・・約1.1キロ

○使用場面

・充電保管庫から出したタブレットを手提げ袋に入れ、机の横のフックにかけたり、机の中に入れてたりして、すぐに使えるようします。

